

家族で  
一緒に学ぼう!

いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に  
学びがあることをお伝えしていきます

# 「遊び」は「学び」

## 教えて!ナナキダ先生!!



### スマートフォンとの付き合い方

タブレットがコロナ禍を境に学校教育の中で一般的なものになってきました。それに向けて幼児期からスマートフォンやタブレットを積極的に使わせる家庭も増えてきているのでしょう。一方で乳幼児からのスマホ依存の弊害についても耳にします。アメリカ幼児教育協会では、2歳以上の場合、将来のコンピューター使用の準備のためにスマートフォンのような双方向性のメディアに肯定的な立場をとっています。ただその使い方には注意が必要とのこと。情報の一方通行だけ

の視聴は避け、「子供だけで使わせない」「子供の実体験と結びつようなものを親子で視聴する」ということを推奨しています。また子供に使う時間の制限をしておいて、自分は視聴し放題、というのも問題がありそうです。

ななきだ あつし  
**七木田 敦先生**  
広島大学大学院人間社会科学部研究科 教授/研究分野は、幼児教育学、特別支援教育学/子育て支援、幼児教育等に関する著書・研究多数

### デジタル時代の子育て

スマートフォン等のデジタル機器は、いまや生活に欠かすことはできません。ただし、その長時間の使用は子供の心身の発達への影響を及ぼすことが心配されています。乳幼児期の子供には人と人との関わりや「直接的で具体的な体験を伴う遊び」が大切です。スマートフォン等との上手な付き合い方を考えてみませんか。



#### ●遊びの中で育つもの

自分の体をコントロールできるようになり、人、自然、物との触れ合いの中で、赤ちゃんのさまざまな能力が育っていきます。大人の行動をまねたごっこ遊びやお手伝いなども心身の発達を促します。特にお父さんやお母さんなどと同じ物を見て、自分の気持ちに共感してもらうという体験は自己肯定感を育て、心の発達の基礎になります。

公益社団法人日本小児科医会発行リーフレット「スマホに子守りをさせないで」より一部抜粋

家庭で「ちょっとやってみよう」と思える、役立つ情報を発信中

親子コミひろしま 検索 URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



子育て奮闘中の家族です

とはいえけれど...

スマートフォンは私たちには  
かかせないけど...

明日の  
会議の  
資料だ



子育てではどのように  
付き合っていくのがいいのかな...

こんな毎日で大丈夫かな?

動画でも  
見ようか



大丈夫よ! 中を見てみよう

子供にとって

# 遊びや日々の生活の全てが学びです!

「遊び」や「生活」は子供にとって探求の宝庫。

遊びや生活の中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、困難を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。

## 3歳ごろ

調べてみようか



好奇心や期待が高まり質問(なぜ?どうして?)が増え、ごっこ遊びを楽しむようになります。

なぜ?どうして?といった「ふしぎだね」を共有し、知りたい気持ちが高まったらスマートフォンで親子で一緒に会話しながら調べてみましょう。

人とかかわる力

考える力

感じる・気付き力

体のバランス感覚が発達し、手先が器用になり、はさみやのりなども使えるようになります。色々なやり方を試しながら遊んだり、自然のものをさまざまなものに見立てて遊んだりし始めることも。

工作の動画などを見ながら一緒にハサミやのりを使って遊んでみるのもおすすめです。

考える力

うごく力

感じる・気付き力

人とかかわる力

## 5歳ごろ

こんなもの作ったよね



基本的な生活習慣が身に付き、決まりを守ろうとし始めます。言葉での意思疎通ができるようになり、保護者と子供で同じイメージをもって遊べるようになります。

スマートフォンを使うときのルールを子供と一緒に作ったり確認したりしてみましょう。遊ぶ過程やお絵かきや工作などの様子を記録し、保護者と子供で一緒に見て思い出したり、楽しんだりするのもいいですね。

人とかかわる力

やりぬく力

## 「5つの力」って何? /

乳幼児期に育みたい力

感じる・気付き力

うごく力

考える力

やりぬく力

人とかかわる力



## スマートフォンの良いところ

### 1 興味や知識の幅を広げ、多様な情報に触れられる

子供の好奇心は強く、どんどん新しい知識を吸収していきます。大昔の恐竜など現実では見ることができない世界を覗くことができます。

### 2 子育てに役立つアプリがある

おもちゃの代わりになる画面に触れると音が出るものや、タイマー機能や時計、自分の写真や動画を見て、思い出や成長を振り返るアルバムなど、学びや子育てのサポートにつながるアプリを活用できます。

### 3 コミュニケーションの機会にできる

アニメや動画と一緒に見ることで、親子の共通の話題になり、コミュニケーションのきっかけにつながります。

### 4 主体的に操作できる

情報を一方的に受け取るのではなく、自分の興味・関心のあるものを主体的に選択でき、小学校以降の情報活用力につながります。



## 気を付けたいこと

### 1 悪質なコンテンツに触れないようにする

保護者が知らないところで、悪質なコンテンツを見ってしまうこともあるため、なるべくスマートフォンを使用するときは一緒に過ごしましょう。

### 2 生活習慣を乱さないようにしましょう

就寝前にスマートフォンを見続けると強い光の影響などで寝つきが悪くなってしまうことがあります。

### 3 子供と触れ合う機会が減らないよう心がける

子供が一人でスマートフォンに夢中になることで、保護者は自分の時間を持てるかもしれませんが、その分コミュニケーションの機会が減ってしまうため、なるべく一緒に時間を楽しめる工夫をしていきましょう。

### 4 実体験を大切に

スマートフォンで得た知識を外に出て五感を使って感じることを大切にしましょう。